

に……飛行機に乗った若者たちは、飛行機とともに……  
ああ……おれは

おれは……)

内田社長は、つかれとシヨックでたおれてしまいました。その後、いったん工場をやめることになりました。内田社長のナツパ服姿は、しばらく見ることができませんでした。

戦争が終わってから、二年の月日がたちました。

工場のかたすみに、少ない従業員の先頭に立ち、本気で働く内田社長の姿がありました。油まみれ汗まみれの内田社長は、ついにあの苦しみをのりこえたのです。

それから三年後、内田社長は、日本中をあつといわせるようなすばらしい発明をしたのでした。それは、油圧の原理を応用した機械の製作でした。



終戦当時の東京の町